

三峯神社参詣で賑わった道歩く

登山道の紹介～大輪三峰線歩道～



◎大輪から清浄の滝

三峰口駅または西武秩父駅から大滝方面のバスに乗り、大輪（おおわ）バス停で下車すると、登山道が始まります。ここから三峯神社に登る道は「三峰山表参道」と呼ばれ、



江戸時代以前から続く三峯神社への参詣の道でした。ロープウェイ（平成19年廃止）が開通するまでは、参詣者は歩いたり駕籠（かご）を使って登りました。

朱塗りの登竜橋（とうりゅうばし）を渡って対岸へ。この周りは紅葉の名所です。「是より本社五十二丁」の丁目石が目に入ります。少し進むと、ロープウェイの駅の跡地に到着。右下に「竜門の滝」が見えます。



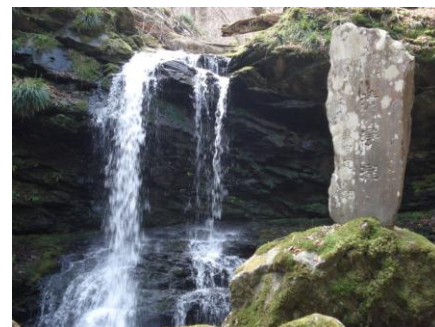
杉の大木の間を歩いていきます。沢を流れる水の音がすがすがしく感じられます。



丁目を記した石を数えながら、出発点から40分ほど歩くと「清浄の滝」に到着。

ここは昔から三峯神社の信者の修行場で、今でも滝修行が行われています。

滝を眺めて清涼感を味わいながら、少し休憩しましょう。マイナスイオンたっぷりといった感じです。



◎清浄の滝から薬師堂跡

再び丁目石を数えながらの登りです。ところどころに木段のある山道がつづらおりになって続いています。



標高が上がるにつれ、風は涼しく感じられるようになってきます。この辺りで標高は約700メートル。

左手に特徴のある形をした山が見えてきました。

この山が、雲取山、白岩山とともに三峰三山のひとつである妙法ヶ岳です。山頂には、寛保元年（1741年）

に創建されたという三峯神社の奥宮があります。妙法ヶ岳へは三峯神社から1時間半程度で登ることができます。



出発点から2キロちょっと登ったところで、薬師堂跡に到着。

この場所は昔、参詣者のための休憩所だったところで、薬師如来（やくしにょらい）の堂が併設され、急病人の看護なども行っていたと言われています。



また、江戸時代には三峯神社が女人禁制だったため入山を許可されなかった女性や、病気になる人、雪で登れなくなった人などを無料で宿泊させた場所でもあるとのこと。

◎薬師堂跡から三峯神社

薬師堂跡で休憩を取ったら、さらに登り続けます。傾斜がちょっときつくなってきました。



しばらく行くと、これまで見えなかった和名倉山方面の展望が開けてきました。

和名倉山は標高2,036メートル。非常に大きな面積を持ち、県境を含まず、県内に山頂がある山の中では最高峰です。

二百名山にも選ばれ、最近では登山者が増えているようですが、遭難事故が多く発生しており、登山には十分な装備と細心の注意が必要です。



出発してから、3キロ歩きました。あと約700メートル。傾斜はだんだん急になってきました。汗をふきふき、もうひと頑張りです。



三峯神社遥拝殿が見えてきました。もうすぐです。

登り始めて約2時間。終点の三峯神社に到着。遥拝殿からは正面に妙法ヶ岳が望め、眼下には秩父盆地も遠望できます。登り終えた満足感を味わいながら見る山の景色は何とも爽快。



三峯神社の境内は広く、最近、パワースポットとしても注目されています。樹齢800年のご神木



「重忠杉」には癒しの力があるとして、「気」をいただく人たちが増えているようです。

神社内の宿泊施設「興雲閣」では日帰り入浴も可能で温泉で汗を流して帰ることができます。

ここからは、三峰口駅を經由して西武秩父駅に行くバスが出ています。また、歩く場合は、来た道に戻ってもよいのですが、昔、三峯神社に馬などで荷物を運んだ道である「裏参道」を通って大輪に戻るコース、秩父湖に下るコースもあります。

近くにはカタクリ園やシャクナゲ園もあり、新緑や紅葉など、季節ごとにいろいろな景色や植物などが楽しめます。ぜひ歩いてみてはいかがでしょうか。



(平成25年4月)